
FUCK'N BRAT

蛇豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

FUCK·N BRAT

【Zコード】

Z9849Y

【作者名】

蛇豆

【あらすじ】

とあるヤクザの若頭、土田寛平が警察に頭を撃ち抜かれた。目覚めた所は地獄の底辺、「辺獄」という地だつた。ここで十人の人間を殺さないと現世へ戻れないらしい。だが、その前に立ちはだかるのは……英國の名殺人鬼切り裂きジャック、人食いスウェイニー・トッド、米国史上最悪の殺人鬼アルバート・フイッショ e t c……。トッド、米国史上最悪の殺人鬼アルバート・フイッショ e t c……。歴史に残る世界の殺人鬼達が次々と襲いかかる！！

異世界転生嫌いが描く異世界転生ファンタジー。ここに開幕……？

序章（前書き）

テーマソング Slipknot 「People=Shit」

気が付くと、目の前に警察官の死体が出来上がっていた。自分が持っている日本刀から膨大な血が滴となつて滴り落ちていた。

前田組若頭、土田寛平は悟つた。

「ああ、やつちまつた、と。

ここには大阪。深夜一時。

長年に渡り大阪を牛耳つていた前田組が、今危機を迎えていた。事務所を警察隊に突入されたのだ。不運にも、その場に組長が訪れていた。繩にかかつたら一大事だ。

突入してきた警察官と、乱闘が行われていた。

「何してくれとんじやあ、誰がヤツパでやれ言うたんじや、ワレカスウウウ！」前田組組長、前田栄が土田に怒号を飛ばした。「ますますマッポ五月蠅なるやろがああ！…どないしてくれんねん！…」

「すんません！…つこうつかり……」

「うつかりちゃうわ！…アホんだら！…何回田じやああ！…」

「六回目です！…」

「クソだりやあああああ！…」組長が刀鞘で警官と組み合つた。警官に荒息を掛ける。拮抗が続く。「死にさらせ！…」

組長が一步下がつて、警官の首を縦いだ事でカタが付いた。だが、新手の警官が次から次へとなだれ込む。

「親分！！」

「なんや！？」

「お逃げ下れ……」土田は刀を鞘にしまい、前方に居た警官を蹴り飛ばした。

「元からそんつもりや……早よ逃げ道作らんかい……」

土田は北の方向に指差した。「あそこに勝手口があります……案内します！！」

「任せたで……」

土田は組長の前を往き、勝手口へと走った。

だがその時、警官の銃声が。

その瞬間、土田の頭から血飛沫が舞った。視界が黒に染まった。

それからいくら時が経つただろうか。

土田は目が覚めた。

しかし、そこは見知らぬ地であった。

樹海だった。

鬱蒼と茂る大木が生みだす陰惨な空氣に土田は焦燥感を覚えた。組長もいない。子分達もいない。独りだった。

此処は何処

「なんじゃあ、ここはあああああああああーー！」

土田は叫んだ。腰に提げた日本刀が揺れた。
何処からも誰からも返事はない。

——糞、ここあ何処じゃあ？

記憶を探つても、何も手掛かりは無かつた。どうして此処にいるのかも、此処が何処なのかも全くわからない。

混乱したが、暫くすると整理がついた。

「……進もか……」

かつたるく呟いて、土田は歩きだした。

土田は取りあえず、この樹海を抜ける事にした。
一步踏み出す毎に粘り気のある土が靴に張り付く。
少し進むと、もしかしたら、俺は他の組の奴等に埋められかけたのではないか、と思いついたがすぐに撤回した。
理由のない、根拠のない全く机上の空論だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9849y/>

FUCK'N BRAT

2011年12月1日19時49分発行